



## 令和4年度 設置者（県）の取組状況

### 1 東アジア文化都市事業の実施

「東アジア文化都市 2023 静岡県」は、令和5年1月から取組が始まり、5月2日には、中国梅州市や韓国全州市の各副市長をはじめ、関係者600人余りを招き春の式典を盛大に開催した。12月のフィナーレに向けて、世界に輝ける東アジア文化都市を県民総がかりで創造するとともに、目標とする過去最大の実績である事業数500本、来場者数360万人、経済波及効果100億円以上の達成に向け、全力で事業に取り組んでいる。

東アジア文化都市実行委員会の委員として、木下館長も文化施設の代表として名を連ねており、県立美術館で開催する企画展やイベントは、東アジア文化都市のコア事業として位置付けられ情報発信している。

10月に開催する企画展「<sup>スーパースター</sup> 大大名の名宝」展では、細川家所蔵の中国絵画も出品され、記念講演会「細川家の歴史と永世文庫」を開催する予定。

#### 東アジア文化都市 2023 静岡県の事業構造

区分	内容
交流事業 広報事業	◎公式式典、交流プログラムの実施 ・中国・韓国の開幕/閉幕式典への参加、その他国際交流事業 ◎広報の積極的展開（SNS等を通じた情報発信など）
コア事業	◎本県独自の文化芸術事業を展開 ・富士山世界遺産登録10周年事業 ・伊豆文学祭 ・静岡国際オペラコンクール ・SPAC せかい演劇祭 ・県有文化施設（県立美術館など）による企画展・イベントの開催
協働 プログラム	◎文化の首都として、幅広い分野で魅力を発掘・発信 ・スポーツ ・歴史文化 ・食文化 ・茶文化 ・農業 ・ファッション ・サブカルチャー
地域連携 プログラム	◎市町、地域の様々な団体と連携した文化事業 ・各市町・各種団体主催事業 ・民間主催事業 ・認証プログラム

## 2 教育機関との連携(ふじのくに文化教育プログラム)

県では、「第5期静岡県文化振興基本計画」の重点施策の一つとして、「文化芸術に触れる機会の拡充と人材育成の促進」を位置付けている。

そうした中、令和4年度には、子ども向け事業の全てを1つのプログラムとして体系付け、各学校に「ふじのくに文化教育プログラム」として情報提供することとした。

県立美術館を初めとした県の文化機関が行う学校向け文化体感プログラムを「ふじのくに文化教育プログラム」としてまとめて冊子化して、学校現場に配布するとともに、県立学校・市立高等学校校長会、私学協会理事長校長会等の場で説明して周知している。

これにより、学校カリキュラムの選択肢が増え、より多くの子どもたちの鑑賞・体験機会の増加につながることを期待している。

なお、「ふじのくに文化教育プログラム」で県立美術館は、P16～P21に掲載されている。

## 3 美術館の修繕

県立美術館は1986年4月に開館し、令和4年度で36年目となった。そこで、文化政策課では、資産経営課と連携し、令和元年度に行った劣化診断業務委託の結果をもとに中期維持保全計画（5年間の修繕計画）を策定し、修繕工事などを計画的に進めている。

### (1)劣化診断の結果 (R1)

区分	部材・設備機器	症状	対応方針	実施(予定)
建築	展示移動壁	穴・補修跡が相当数あり	改修	R3 済
	乗用・荷物用エレベータ	耐用年数超過	更新	R3 済
	外壁タイル剥離	外壁全面打診調査(R2)結果により実施	改修	R5
電気	ロダン館受変電設備	耐用年数超過、劣化	更新	R7
	監視カメラ設備	保守部品入手不可・機能低下	更新	R4 済
	展示室スポットライト	照明効率の低下	更新	R3 済
機械	吸収式冷凍機・スクリュウ冷凍機	故障頻発、劣化	更新	R5
	ハロゲン消火装置	耐用年数超過	更新	R3 済
	ファンコイルユニット	故障頻発	更新	R4 済
舞台	講堂舞台照明	保守部品入手不可、劣化	更新	R6
	講堂舞台音響設備	故障、保守部品入手不可	更新	R6

(2) 中期維持保全計画

(単位：千円)

	R2	R3	R4	R5	R6	合計
委託料	9,768	4,802	10,849	12,553	13,420	51,392
工事費	170,797	240,512	153,533	650,847	209,501	1,425,190
合計	180,565	245,314	164,382	663,400	222,921	1,476,582

(3) 令和4年度の美術館改修工事

項 目	内 容
工事期間	令和4年11月～令和5年2月（4ヶ月）
金 額	153,533 千円
改修工事 の内容	本館ファンコイルユニット更新、監視カメラ設備更新、 本館整流器盤更新など（工事期間中は休館）